

(別紙2) 議事要旨

平成18年度 西日本高速道路株式会社 第1回事業評価監視委員会
議事要旨

1. 開催日時 平成19年1月16日(火) 14:30~17:00
2. 場 所 西日本高速道路株式会社 18階 会議室
3. 出席者 [委員] 飯田委員長、斎藤委員、帯野委員、向井委員、古賀委員
[弊社] 石田会長、奥田社長、山本専務、高田取締役 他

4. 議 事

- 東九州自動車道(大分米良~津久見) 日出バイパスについて審議
- 対応方針(案)は概ね了承
- 主な意見

【東九州自動車道(大分米良~津久見)】

- ・ 直接効果として旅行速度の向上、交通事故の減少は評価できる。
- ・ 今回の評価はローカルマーケットに限定している。対象道路の機能というものを分析の念頭に置いた表現がどこかに必要。今回の評価が過小評価になっていることがわかるよう表現の工夫が必要。
- ・ 部分開通では効果が出ないが、もっと延伸すれば明確に効果が出る場合の評価のあり方について課題がある。

【日出バイパス】

- ・ 地元観光産業の振興や利用促進への取組みの連携をさらに促進されることを期待する。
- ・ 経営面での事業計画はどこにどういう形で説明されているのか。事業費増額のチェック機能が不十分なのではないか。
- ・ もっとユーザーからの視点で、明確に区分が付くよう IC や JCT の名称を付けて欲しい。

【全般】

- ・ 事前に想定していた状況と、事後の状況が大幅に変わるようなことが無いよう、地元と連携・打合せを事前から密に行っていく体制を確立すること。
- ・ 評価区間について、個別の改良箇所だけでは暫定的な評価であり、最終的にはネットワークとしてどう評価するのかを考える必要がある。
- ・ 当初予算から大幅な増額が生じるような事が無いよう、事前の調査・計画を徹底すること。

以 上

平成18年度 西日本高速道路株式会社 第2回事業評価監視委員会
議事要旨

1. 開催日時 平成19年3月2日(金) 14:00~16:10

2. 場 所 西日本高速道路株式会社 19階 会議室

3. 出席者 [委員] 飯田委員長、斎藤委員、帯野委員、中瀬委員、向井委員、
古賀委員、谷委員
[弊社] 奥田社長、山本専務、高田取締役、酒井経営企画本部長 他

4. 議 事

➤ 今治小松自動車道(今治小松道路)、南九州西回り自動車道(八代日奈久道路)、
東九州自動車道(末吉財部~隼人東)について審議

➤ 対応方針(案)は概ね了承

➤ 主な意見

【今治小松自動車道(今治小松道路)】

- ・ 社会資本の整備について、今後、省庁間の協議・連携が図られていくべき。
- ・ 観光統計を全面的に信頼されているが、会社独自で信頼できるデータを蓄積すべき。
- ・ 今治道路が供用すると、さらにこの道路が生きてくるかもしれないので、現時点だけでの評価は酷かなという感じがする。
- ・ B/Cの計算は、非常に厳密な前提条件を置いており、安心して見られる数字である。

【南九州西回り自動車道(八代日奈久道路)】

- ・ 事業費に側道分が含まれるのであれば、この交通量も何らかの形で評価すべきではないか。
- ・ この路線は明らかに部分開通である。こういった場合には、延伸後どのような傾向になるのかという情報がないと不十分である。
- ・ 部分開通の区間ごとに一つ一つ区切って分析して、全体の経済評価と整合するのか。路線としての評価について誤謬が起こる可能性はないのか。

【東九州自動車道(末吉財部IC~隼人東IC)】

- ・ 利用目的地と利用者の属性により変化があると思うが、利用者にとって15分の短縮が便利か便利でないかは、その対価によって相対的に考えることである。できれば資料にも利用料金を記載すべき。
- ・ 環境については、個別の評価だけでなく、ルート全体で何を考えてやっているかも必要である。環境配慮へのコンセプトも示すべき。

【全般】

- ・ まちづくり、地域振興という視点で、NEXCOにしかできない地域づくりというものを考えてみては。

以 上